

# 当院における過去5年間の 抗酸菌培養検査に関する検討

地域医療支援病院オープンシステム

徳山医師会病院 感染制御チーム

有馬 由美子      中村 美紀

渡邊 なつ美      福江 宜子

# 日本環境感染学会COI開示

発表者名：◎有馬 由美子、 中村 美紀、  
渡邊 なつ美、 福江 宣子  
(◎代表者)

演題発表に関連し、  
開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

# 当院の概要

## オープンシステム

周南市の病院・診療所の医師が登録医として、患者の入院から退院まで一貫して診療し、入院中は常勤医・他科の医師・大学のコンサルタント医と共同し診療するシステム

## 病棟

地域包括ケア病棟 45床

急性期一般病棟 135床

療養型病棟 50床

回復期リハビリテーション病棟 50床

障害者施設等入院病棟 50床

合計 330床

# 背景・目的

現状 直接塗抹による鏡検・小川培地での培養  
結核菌PCRは外注

塗抹陽性.....結核菌PCR実施 早期に結核の診断  
塗抹陰性.....培養陽性菌株から同定検査を外注  
結核診断が遅れる



多くの職員が濃厚接触者となった事案が複数回発生

PCR機器導入に向け、現状把握を行う

# 対象および方法

2016年1月から2020年12月までの5年間

当院で実施した抗酸菌検査依頼を対象

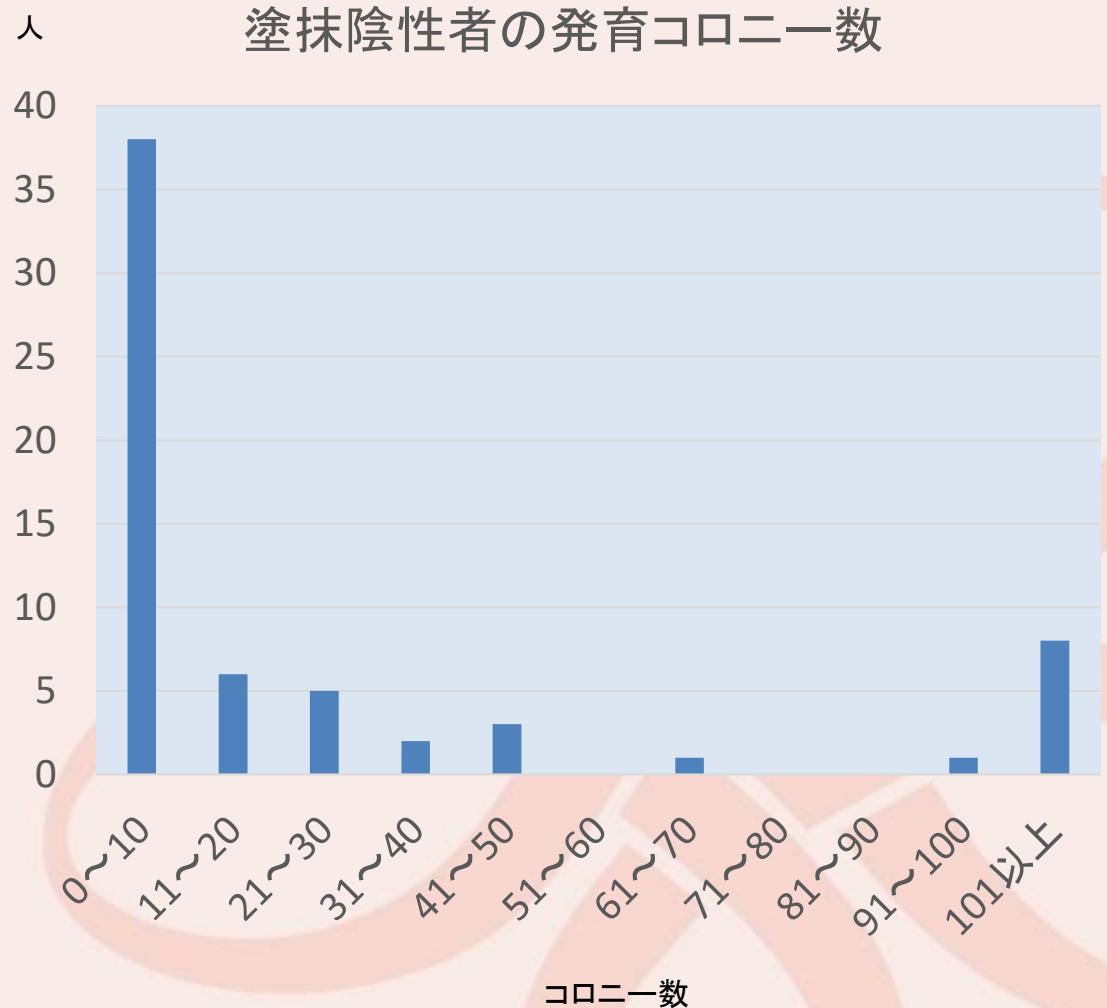
- \* 培養件数
- \* 塗抹陽性率
- \* 培養陽性率
- \* 結核陽性率
- \* 結核菌が検出された契機を判断

# 結果

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	合計
依頼人数(A)	286	263	248	273	149	1219
培養依頼人数(B)	161	146	119	130	85	641
塗抹陽性(C)	12	4	7	4	7	34
培養陽性(D)	23	23	21	16	20	103
結核陽性(E)	1	4	2	2	5	14
塗抹陰性で培養から 結核陽性	0	3	0	1	2	6
塗抹陽性率(C/A)	4.2	1.5	2.8	1.5	4.7	2.8
培養陽性率(D/B)	14.3	15.8	17.6	12.3	23.5	16.1
結核陽性率(E/B)	0.6	2.7	1.7	1.5	5.9	2.2

# 結果

培養陽性(非定型抗酸菌を含む)103名のうち、塗抹陰性は64名で、全体の62%だった。発育したコロニー別に見ると、10以下が多数を占めるが、菌量が多いと予測されるものも含まれ、見落としの可能性が考えられる。



# まとめ

- 抗酸菌染色標本は、集菌したのち蛍光染色が推奨されているが、当院では直接塗抹を行っていた。当院で結核が判明した14名のうち、塗抹陰性で、発育した菌株からの同定により判明したのは6名(43%)で、検体採取後、平均31日。非定型抗酸菌も含めると103名のうち、64名(62%)が発育した菌株からの同定であった。見落とされている可能性も考えられるため、今後はビーズ法による集菌を行うことに変更した。
- 以前はPCR検査は外注検査であり、依頼件数が少なかった。新型コロナによりPCRが注目を集め、当院でも導入したので、結核のPCRも院内で実施することで、より早く結核患者が判明し、院内感染防止に役立てられると考える。